

ひたすらなるつながり - 共に生きるを考える -

来る11月21日(月)、滋賀県社会福祉協議会設立70周年記念式典において、上野千鶴子さん、湯浅誠さん、宮川絵理子さんをゲストにお招きし、「ひたすらなるつながりー共に生きるを考える」と題したフォーラムを開催します。社会が困難に直面する今だからこそ、「共に生きる」ことについて改めて皆さまと考える、本会の法人理念である「ひたすらなるつながり」の想いを共有させていただける機会となればと存じます。ぜひご参加ください。

日時

令和4年11月21日(月)

参加費
無料

14:15-16:30 (受付開始 12:30-)

場所

びわ湖ホール 中ホール (滋賀県大津市打出浜15-1)

定員

500名

記念講演

14:15-15:15

「これからの時代を生きるあなたへ
～安心して弱者になれる社会をつくりたい～」

社会学者・東京大学名誉教授・

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長 上野千鶴子氏

トーク

セッション

15:30-16:30

「ひたすらなるつながり～共に生きるを考える～」

上野千鶴子氏 × 宮川絵理子氏 × 渡邊光春

コーディネーター 湯浅誠氏

手話・要約筆記があります。

※当日13:00～14:10は「令和4年度滋賀県社会福祉協議会表彰式・感謝状贈呈式」を開催します。



©後藤さくら

うえの ちづこ
上野千鶴子氏

社会学者

東京大学名誉教授

認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長

1977年、京都大学大学院社会学博士課程修了。1979年、平安女学院短期大学(現:平安女学院大学短期大学部)専任講師に。1993年、東京大学文学部助教授就任。95年より同大学院人文社会系研究科教授。日本における女性学、ジェンダー研究のパイオニアであり、指導的な理論家のひとり。高齢者の介護・ケアも研究対象としている。著書に『おひとりさまの老後』(文春文庫)、『在宅ひとり死のススメ』(文春新書)、『女の子はどう生きるか 教えて、上野先生!』(岩波ジュニア新書)、『最後まで在宅おひとりさまで機嫌よく』(中央公論新社)など。

登壇者紹介

申込期限

11/14 金



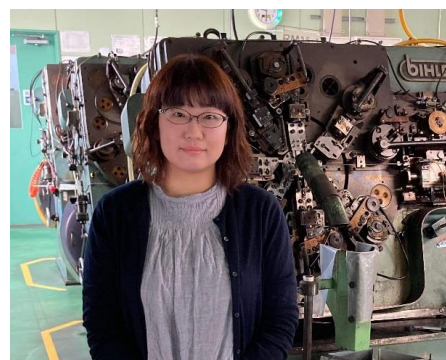
ゆあさ まこと
湯浅 誠 氏

社会活動家
東京大学 特任教授
認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長

1969年東京都生まれ。東京大学法学部卒。東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。1990年代よりホームレス支援に従事し、2009年から足掛け3年間内閣府参与に就任。内閣官房社会的包摂推進室長、震災ボランティア連携室長など。政策決定の現場に携わったことで、官民協働とともに、日本社会を前に進めるために民主主義の成熟が重要と痛感する。内閣官房こども家庭庁準備室「こどもの居場所づくりに関する調査研究検討委員会」座長。

みやがわ えりこ
宮川 絵理子 氏
宮川バネ工業株式会社 専務取締役

滋賀県東近江市にある、板バネを専門とする金属部品製造業者。
滋賀県社会福祉協議会が実施する「社会的養護のもとで暮らしている子どもたちの自立の力を育む“ハローわくわく仕事体験”」事業の協力企業として就労体験を受け入れ、子どもたちの自立を応援している。



わたなべ みつはる
渡邊 光春
滋賀県社会福祉協議会 会長

平成25年より現職。「滋賀の縁創造実践センター」発起人であり代表理事。この法人が目指す地域福祉とは誰もが「おめでとう」と誕生を祝福され、「ありがとう」と看取られる共生社会であり、その実現のため「ひたすらなるつながり」の理念のもと、不断の地域福祉実践を行う」と定款に明記した。

参加申込書

参加をご希望の方は、以下ご記入いただき、メールもしくはFAXにて下記申込先までお申し込みください。
Googleフォームでの受付も行っております。

お申込み

FAX

077-567-3923

MAIL

soumu@shigashakyo.jp

Googleフォーム

こちらから→



所属	
氏名	
電話番号	
備考	車いすのご利用、介添者の同伴、手話通訳等を希望される場合はご記入ください。